

平成27年度 静岡市・大学連携事業

市民大学リレー講座

死を見つめ今を生きる

～豊かな人生を送るヒント～

受講料
無料

市内5大学の教授陣が「死生学」をテーマに様々な切り口から講義をお届けします。

第1回

10/3(土)

静岡県立大学

国際関係学部国際言語文化学科
日本文化コース

吉田 真樹 准教授

「日本人の靈魂観」

第2回

10/10(土)

東海大学

海洋学部海洋文明学科

川野 美砂子 教授

「世界の死生観と
死者儀礼」～タイ文化を中心に～

第3回

10/17(土)

静岡英和学院大学

短期大学部
現代コミュニケーション学科

高橋 清隆 教授

「死後の世界と
生まれる前の世界」

第4回

10/24(土)

常葉大学

健康科学部看護学科

渡部 洋子 教授

「在宅での看取り」

～遺族に対するケアの必要性～

第5回

10/31(土)

静岡大学

農学研究科

竹之内 裕文 教授

「対話を通して
生と死を探究する」

会場

アイセル21

静岡市葵区東草深町3番18号 41集会室

時間

午前10時00分～11時45分

定員

どなたでも50人

申込方法

電話で静岡市コールセンター **TEL:054-200-4894** へ申し込みください。
(年中無休、午前8時～午後8時)

申込み開始日

9月2日(水)から(申込順)

市民大学リレー講座

死を見つめ 今を生きる

～ 豊かな人生を送るヒント～



第1回

10/3 (土)



日本人の靈魂観

静岡県立大学

国際関係学部国際言語文化学科日本文化コース

吉田 真樹 准教授

私たちにとって靈魂とはいったい何なのでしょう。古代以来の説話や物語を振り返ってみれば、そこには多くの靈魂イメージが残されています。古代以来、理論型の思想家たちは靈魂の問題を消去しようとしたが、それをすり抜ける形で靈魂の思想は生き残り、現在の私たちにまで流れ込んでいるといえます。本講義では代表的な靈魂イメージのいくつかを取り上げて、靈魂とは何かという問題について考えてみたいと思います。

第2回

10/10 (土)



世界の死生観と死者儀礼 ～タイ文化を中心に～

東海大学

海洋学部海洋文明学科

川野 美砂子 教授

この講義では、文化人類学の領域で中心的なテーマの一つとなってきました死生観と死者儀礼の研究を、タイでの調査を中心にご紹介します。世界の多様な文化と世界観の中で紡がれてきた生と死の物語と、そこで営まれてきた死者儀礼を理解しようとする試みは、いかに生きるかという問いに答えることを目的とするものではありませんが、私たちが生きているこの意味の世界を広げる助けになることでしょう。

第3回

10/17 (土)



死後の世界と 生まれる前の世界

静岡英和学院大学

短期大学部現代コミュニケーション学科

高橋 清隆 教授

人生は一度きりとよく言われますが、ほんとうにそうでしょうか。人生が一度きりなら、好き勝手な行動をとる人がもつと多くなると予想されますが、本能的に、来世以降の自分に負担を残さないように自制している人が多いのではないのでしょうか。死後の世界、生まれる前の世界を、様々な証言から探り、そこから人生の意義を考えていきたいと思ひます。なお、特定の宗教の立場はとっておりません。

第4回

10/24 (土)



在宅での看取り

～ 遺族に対するケアの必要性～

常葉大学

健康科学部看護学科

渡部 洋子 教授

自宅で見守るためには家族への関わりが重要であり、看取るまでの家族のケアと看取った後の家族のケア、どちらも必要であり残される家族の悲しみをどのように支えるのかが重要な課題でもあります。

訪問看護の経験と自身の研究活動から、実例を通して看取りにおける家族支援の現状と課題について考えていきたいと思ひます。

第5回

10/31 (土)



対話を通して 生と死を探究する

静岡大学

農学研究科

竹之内 裕文 教授

高齢期や終末期には様々な場面で、多くの選択を余儀なくされます。それらの選択の土台となるのが一人ひとりの死生観です。また生きること、死にゆくことは、私たちすべてにとっての共通課題です。そこで講座の最終回では、すこし趣を変えて、カフェスタイルで語り、ともに考えてみることにしましょう。哲学カフェと死生学カフェでの経験に基づいて、ファシリテーターとして、参加者の対話と探究をサポートします。